



さくら便り

38号

令和5年1月

明けましておめでとうございます。今期の冬は寒い日が多いですね。寒い日が多いときは、桜の開花が早いと聞いております。剪定作業はあまりはかどっておりませんでしたので、今月より急ピッチで進めなければと焦っております。桜も寒さに耐え春を待っておりますので、私どもも頑張らねば。

(散歩の友) 新年の初めには、初詣にお出かけになる方が多いではないでしょうか。特に高田の方は、この近くにあります手力雄神社に行かれるのでは。今回は手力雄神社の祀神について書かせて戴きます。神名は天手力雄命(あまのたちからおのみこと)と云います。皆さんご存知だと思いますが、古事記に依れば「天照大神が天の岩戸に隠れたとき、天の岩戸の扉を開いて、天照大神の手を引いて、導き出し、太陽の光を復活させるために活躍した有名な神です」神格は力の神・技芸の神であります。スポーツの守護神としても信仰を集めています。天手力雄命を祀っています神社は伊勢神宮内宮相殿、戸隠神社(長野)、雄山神社(富山立山町)、佐那神社(三重多岐町)などがあります。戸隠神社には天手力雄命が天の岩戸の扉を放り投げ、それが地上で戸隠山になったという言い伝えがあります。富山県の立山信仰の神としても崇められています。又、天孫降臨の際に諸神とともに随伴して、地上に降り佐那那県(さなながた)に住んだという言い伝えもあります。インターネットで調べたところ、手力神社の名がある神社は千葉県館山市・大垣市・奈良市・奈良県桜井市、もちろん近隣の岐阜市蔵前・各務原市がありました。巷説に天手力雄命と石長姫命(いわながひめのみこと)は深い関係の仲だったというものがあります。石長姫命はニニギ命(天照大神の孫)の妻コノハナサクヤ姫の姉に当ります。父の大山津見神はニニギ命に二人の娘を差し出しました。しかし姉の石長姫命は返されました。石長姫命は石の如く堅く動かず、コノハナサクヤ姫は花が栄えるが如く栄えると云われていました。この選択によって天皇の命は永遠で無くなったといわれています。切通にあります伊豆神社は石長姫命を祀っています。深い関係にあった二人は近くに祀られているんだなあ。恋は永遠なりと。他の手力雄命を祀る神社の近くに、石長姫命を祀っている神社があるかは調べておりませんので定かではありませんが。

(ホームページ)

パソコン

<https://gifutakatamachi.sakura.ne.jp/wp/>

スマホ・タブレット



桜を愛する会